

(財)ソニー教育財団 2010年度教育助成・入選発表

＜ソニー子ども科学教育プログラム／「科学が好きな子どもを育てる」実践と教育計画＞

＜ソニー幼児教育支援プログラム／「科学する心を育てる」幼児教育実践＞

(財)ソニー教育財団(理事長:中鉢良治)は、「ソニー子ども科学教育プログラム」(審査委員長:御手洗康 放送大学学園・理事長)と「ソニー幼児教育支援プログラム」(審査委員長:小泉英明 (株)日立製作所・役員待遇フェロー)について、2010年度教育助成の入選校・園が決定しましたので下記の通り発表します。

今年度、ソニー子ども科学教育プログラムには全国の小・中学校より219件、またソニー幼児教育支援プログラムには幼稚園・保育所・認定こども園より89件の応募があり、書類審査、現地調査および最終審査と厳正なる審査を経て入選が決定しました。

ソニーは日本の未来を担う子どもたちの知的好奇心や創造力を伸ばし、新しい世界を切り拓く人を育てることが大切だと考え、1959年より50年にわたって、この教育助成事業を続けています。「ソニー子ども科学教育プログラム」と「ソニー幼児教育支援プログラム」では実践と教育計画の論文を募集し、優れた取り組みを行っている全国の小・中学校や幼稚園・保育所・認定こども園に対して教育助成を行って支援しています。

入選校・園には、教育助成金 合計2,700万円とソニー製品(贈呈機器の市価合計約2,300万円 参加賞を含む)が(財)ソニー教育財団とソニー株式会社より贈呈されます。

■ ソニー子ども科学教育プログラム／「科学が好きな子どもを育てる」実践と教育計画／小・中学校

最優秀校は次の2校に決まりました。各校およびPTAなどに対して教育助成金300万円とソニー製品(※)が贈呈されます。その他、優秀校、奨励校の詳細は別紙のとおりです。

◆ 三戸郡南部町立名久井小学校 (青森県) 工藤 隆継 校長

◆ 千葉市立こてはし台中学校 (千葉県) 杉山 清志 校長

優秀校(15校):教育助成金50万円とソニー製品(※)

奨励校(75校):教育助成金10万円とソニー製品(デジタルスチルカメラ)

■ ソニー幼児教育支援プログラム／「科学する心を育てる」幼児教育実践／幼稚園・保育所・認定こども園

最優秀園は次の2園に決まりました。各園および保護者の会などに対して教育助成金100万円とソニー製品(※)が贈呈されます。その他、優秀園、奨励園の詳細は別紙のとおりです。

◆ 社会福祉法人わこう村 和光保育園 (千葉県) 鈴木 眞廣 園長

◆ 学校法人常磐会学園 常磐会短期大学付属茨木高美幼稚園 (大阪府) 中村 妙子 園長

優秀園(12園):教育助成金20万円とソニー製品(※)

奨励園(32園):教育助成金5万円とソニー製品(CDラジカセとデジタルスチルカメラ)

注:2010年度より賞の名称を変更。

※46型液晶ハイビジョンテレビ、データプロジェクター、ノート型パソコン(以上3点は共通)、デジタルスチルカメラ10台(子ども科学教育プログラム)、デジタルフォトプリンター、デジタルビデオカメラ(幼児教育支援プログラム)の中から1つ。

また、参加賞として全応募校・園にデジタルスチルカメラ1台を贈呈。

■ 審査総評と入選校・入選園一覧

今年度の審査総評と最優秀校・園に関する講評、および入選一覧の詳細は別紙をご覧ください。

■ 贈呈式について

上位入選校・入選園の贈呈式を2011年1月22日(土)14:00より、ソニー株式会社 本社にて、(財)ソニー教育財団理事長の中鉢良治が出席して行います。また、すべての入選校・入選園の贈呈式を、学校・園の所在地にて当財団およびソニーグループ企業の代表が出席して、1月下旬～2月下旬にかけて各地域で行う予定です。

(財)ソニー教育財団は、このような教育助成活動を通して、夢をもって新しいことに挑戦していく子どもたちを育てるための教育支援を続けて参ります。

ソニー教育財団の教育助成活動について

ソニー株式会社の創立者井深大は、戦後の日本の発展には小・中学生の理科教育が重要と考えて、1959年より全国の小・中学校の先生方の支援をしてきました。1972年には(財)ソニー教育振興財団を設立。その後も、子どもたちの豊かな心を育てる教育の大切さを考えて支援活動を続け、現在の(財)ソニー教育財団の活動へとつながってきました。子どもたちが、科学を通して好奇心や創造力を伸ばし、勇気を持って新しいことに挑戦していく人に育つことを目指し、子どもたちの教育に情熱を持って取り組む人たちと学びの場を支援しています。2009年に、ソニーの教育助成活動は50周年を迎えました。

活動当初より小・中学校を対象に行い、これまでに延べ10,000校を超える応募があり、5,000校が受賞しました。2001年からは幼稚園・保育所・認定こども園からも論文を募集し、助成を行うとともに、優れた取り組みの内容を発表会やホームページを通して、積極的に広く公開することを行っています。

また、全国の小・中学校の先生方(約2,000人)の自主的な研究組織である「ソニー科学教育研究会(SSTA)」の研究・研修活動を支援しています。さらに2005年度からは、直接子どもたちを対象とした「科学の泉-子ども夢教室」、2007年度からは「ソニーものづくり教室」と海外の教育組織との交流を行っています。

<報道関係の問い合わせ先>

財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川4-2-1 <http://www.sony-ef.or.jp/>
TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 宮原・坂口)

2010年度 ソニー子ども科学教育プログラム 審査委員長 総評

本年度も全国より219校という多数の小・中学校からご応募をいただきました。半数を超える121校が連続応募であり、継続して科学が好きな子どもの育成に取り組まれていることに敬意を表します。また100校近くの学校から新規のご応募をいただき、ありがとうございました。

今年も各校に共通して大きなテーマとなったのが、子どもたちが自ら学び探究する意欲をいかに引き出し高めるかということでした。科学の有用性や必要感、探究する楽しさや喜びを子どもたちに実感してもらうために、いま学んでいることと実生活との関連を強く意識付けたり、先人の科学者の原理発見の過程を追体験させたりするなど、様々な先進的な実践と計画をいただきました。

もう一つは、新しい学習指導要領に基づいた表現力の育成というテーマを、単なるコミュニケーション・スキルの向上ということだけでなく、科学の学習を通じて育てるべき力は何かという視点も加えて、思考力と「学び合い」の力の育成を図る取り組みにまで高めた実践が、数多く見られたことです。理科の授業を通して日本人に不足していると言われる表現力を育成するには、このような取り組みが大切であると思います。

より多くの皆さんに本プログラムの趣旨にご賛同いただき、来年度も、科学が好きな子どもを育てるための実践と計画を全国の多数の学校から応募してくださることを期待しております。

2010年度審査委員長総評より抜粋：全文はこちら <http://www.sony-ef.or.jp/science/achievements/review/2010.html>

審査委員長：御手洗 康 放送大学学園理事長（元文部科学事務次官）

審査委員（五十音順）：渥美 雅子（弁護士）、大高 泉（筑波大学大学院教授）

日置 光久（文部科学省初等中等教育局 視学官）、山田 敏之（社団法人 日本工学アカデミー専務理事）

最優秀校 講評

三戸郡南部町立名久井小学校（青森県）

テーマ：一人一人を知の探検家に導く探究の学校づくり

6年間にわたって「日本一の探究の学校」を目指し全校を挙げて科学教育に取り組んでこられました。科学史を子どもの発想のリファレンスとして活用したり、歴史上の偉人が行った実験と児童が学んだ事とを関連づけたりすることで、偉人と同じ感動を共有させると共に、より深い理解を狙う取り組みは大きな特徴となっています。また、学んだことの生活への活用や、ふるさとの良さを再認識することを目指した教材の工夫など、様々な視点からの実践が計画的に行われています。さらに、「科学の街作り」という視点から、地域ぐるみのエネルギー環境教育など地域社会とのネットワーク形成を目指した取り組みもその成果が期待されるものです。これらの取り組みが、子どもたち一人一人の考えを丁寧に引き出すことを大切にした日々の理科授業やコミュニケーション能力の育成のための具体的な活動に裏付けられている点が高く評価されました。

千葉市立こてはし台中学校（千葉県）

テーマ：理科的潜在能力を刺激して「コミュニケーション能力の向上と科学的な表現技術の確立」を目指す取り組み

「科学を家庭へ」を合い言葉に学校と保護者・地域が一体となって、生徒の主体性を大切にした教育活動が行われています。習得から活用を目的とした「M to A (Mastery to Application)」、活用から発展を目指した「FTA (Family & Teacher Action)」という独創的な2つのプロジェクトが大きな特徴となっています。前者では、「コミュニケーション能力」「科学的な表現技術」の育成に的を絞って、論理的な思考の基礎となる言語技術の育成を行うLSOS (Language Skills on Science) や物の見方・考え方を育成し、より深い理解とその活用を目指した視点明示思考法、全角度説明法などの先進的な活動に取り組んでいます。さらに、後者では「楽遊館（校内科学館）」を核としたチャレンジルーム活動やファミリーアクションなどを通して、身につけた事を授業の中で活用するだけでなく、他の生徒や地域のために役立てることを目指している点が高く評価されました。

ソニー幼児教育支援プログラムでは、今年度（2010年度）全国25都道府県から89園と多くのご応募をいただき、厳正な審査の結果、46園が入選されました。

当プログラムでは、子どもたちの「なぜ?」「どうして?」を大切に育て、「豊かな感性」と「創造性」、そして「意欲」や「思いやり」の芽生えを育てていくことが大切と考えています。そのために、「科学する心を育てる」を主題として、全国の園から実践への新たな取り組みを募集しています。

今年度も各園の創意工夫が伝わる「科学する心」に迫った様々な論文をご応募いただきました。「科学する」ということは、時には思い通りにいかないこともあるものですが、その中でどう試行錯誤して解決するか、また、それをどのように次の展開につなげていくか、という視点も大切だと考えています。

入選された園は、試行錯誤を繰り返しながら、様々な切り口から子どもたちの興味や発想を捉えて、「科学する心」に結びつけて行く実践を展開しています。

次年度も、このような多様な視点からのさらに新たな実践をお待ちしております。

ご応募いただいた先生方の熱意とご努力に敬意を表しますと共に、心より感謝申し上げます。そして、これからも子どもたちのために、先生方がより広い視点から気持ちや取り組みを共有し合い、幼児教育に取り組みられることを願って止みません。

審査委員長： 小泉 英明（株）日立製作所・役員待遇フェロー
 / 東京大学先端科学技術研究センター・ボードメンバー
 審査委員： 秋田 喜代美 東京大学大学院教育学研究科教授
 青木 清 上智大学生命倫理研究所所長
 神長 美津子 東京成徳大学子ども学部教授

最優秀園 講評

社会福祉法人わこう村 和光保育園 （千葉県富津市）

テーマ：「わこう鉄研究所」
 - さてつを溶かして手裏剣を作りたい
 鉄ってどうやって溶かすの? -

火おこしを目指して試行錯誤を重ね、遊びへの思いを広げながら次第に「砂鉄からできた鉄で包丁をつくる」という目的が明確になり、「火を扱い、鉄をつくりたい」という強い思いで子どもたちが意欲的に取り組んだ実践が高く評価されました。

「自分たちでできること」「考えたこと」を幼児なりの発想で実現しようと試したり情報を集めたり協力し合ったりする子どもたちの熱意により、大人も真剣に子どもたちを支えています。そして、通常では実現できない“鉄研究所”や“たたら製鉄”が実現し、まさに子どもも大人も一体になった協働的な取り組みが展開されました。

この取り組みの主体になった5歳児はもちろん、他の年齢の幼児や保育者や保護者など、かかわった人それぞれに自然と向き合い創造性を発揮する大きな学びがあったことがうかがえます。

学校法人常磐会学園 常磐会短期大学付属茨木高美幼稚園 （大阪府茨木市）

テーマ：感じられる環境 感じられる心
 ~生き物とのかかわりから育つもの~

子どもたちが飼育物の「命」や「健康に育つこと」を意識し、大事に飼育している親ヤギの出産や生まれたばかりの子ヤギと向き合い、意欲的に飼育を進めた実践が高く評価されました。

3年前は保育者主体で整備していた飼育環境を子ども目線で見直し、2年前には子どもたちが主体的にかかわれる環境となり、そして今年度は「ヤギにとってよいこと」を考えて生活する活動が展開されました。出産・誕生という感動体験をした子どもたちは、ヤギの変容や健やかな成長、餌や抱き方、日々の体重の変化など、主題に迫る取り組みを意欲的に進めています。

このように環境に視点を当てて保育の工夫を重ねた3年間のヤギの飼育活動をまとめたことで、年々子どもたちの興味やかかわりが深まり、体験の内容が向上していくような取り組みも特徴的です。

2010年度(平成22年度) ソニー子ども科学教育プログラム 入選校

最優秀校(2校)

公	名久井小学校	青森県三戸郡	一人一人を知の探検家に導く探究の学校づくり
公	こてはし台中学校	千葉県千葉市	理科的潜在能力を刺激して「コミュニケーション能力の向上と科学的な表現技術の確立」を目指す取り組み

優秀校(15校)

公	光西中学校	北海道北見市
公	天間東小学校	青森県上北郡
公	城南小学校	宮城県多賀城市
公	長山中学校	茨城県龍ヶ崎市
公	新宿中学校	千葉県千葉市
公	中洲小学校	長野県諏訪市
公	土岐津中学校	岐阜県土岐市
公	富士松中学校	愛知県刈谷市

公	鶴城中学校	愛知県西尾市
公	新南小学校	和歌山県和歌山市
公	三高小学校	広島県江田島市
公	中野島小学校	徳島県阿南市
国	愛媛大学教育学部附属小学校	愛媛県松山市
公	本郷小学校	宮崎県宮崎市
公	竹富小中学校	沖縄県八重山郡

奨励校(75校)

公	緑新小学校	北海道旭川市
公	宮の森中学校	北海道札幌市
公	山の手小学校	北海道札幌市
公	天間西小学校	青森県上北郡
公	開北小学校	宮城県石巻市
公	白石第二小学校	宮城県白石市
公	川尻小学校	秋田県秋田市
公	羽後中学校	秋田県雄勝郡
公	久之浜第二小学校	福島県いわき市
公	伊達小学校	福島県伊達市
国	福島大学附属小学校	福島県福島市
公	三河台小学校	福島県福島市
公	三春小学校	福島県田村郡
公	川俣小学校	福島県伊達郡
公	谷和原中学校	茨城県つくばみらい市
公	龍ヶ崎西小学校	茨城県龍ヶ崎市
公	白方小学校	茨城県那珂郡
公	栃木中央小学校	栃木県栃木市
公	車郷小学校	群馬県高崎市
公	下室田小学校	群馬県高崎市
公	日野小学校	群馬県藤岡市
公	仲町小学校	埼玉県さいたま市
公	中郷中学校	千葉県木更津市
公	上の台小学校	千葉県千葉市
公	幸町第三小学校	千葉県千葉市
国	千葉大学教育学部附属小学校	千葉県千葉市
公	轟町中学校	千葉県千葉市
公	花園中学校	千葉県千葉市
公	緑町小学校	千葉県千葉市
公	第一中学校	千葉県銚子市
公	光が丘春の風小学校	東京都練馬区
公	井土ヶ谷小学校	神奈川県横浜市
公	愛宕中学校	新潟県五泉市
公	五十公野小学校	新潟県新発田市
公	中央小学校	石川県金沢市
公	菅浜小学校	福井県三方郡
公	高島小学校	長野県諏訪市
公	武儀東小学校	岐阜県関市

公	牛牧小学校	岐阜県瑞穂市
公	白須賀小学校	静岡県湖西市
公	小豆坂小学校	愛知県岡崎市
公	生平小学校	愛知県岡崎市
公	六ッ美西部小学校	愛知県岡崎市
公	雁が音中学校	愛知県刈谷市
公	富士松北小学校	愛知県刈谷市
公	中畑小学校	愛知県西尾市
公	西尾小学校	愛知県西尾市
公	平坂中学校	愛知県西尾市
公	津久野小学校	大阪府堺市西区
公	上牧第三小学校	奈良県北葛城郡
公	雑賀小学校	和歌山県和歌山市
公	朝山小学校	島根県出雲市
公	平田小学校	島根県出雲市
公	河内小学校	広島県東広島市
公	麻里布小学校	山口県岩国市
公	千代小学校	徳島県小松島市
公	高志小学校	徳島県板野郡
公	石井小学校	徳島県名西郡
公	常盤小学校	愛媛県今治市
公	大谷小学校	福岡県北九州市
公	小倉中央小学校	福岡県北九州市
公	日明小学校	福岡県北九州市
公	藤松小学校	福岡県北九州市
公	守恒小学校	福岡県北九州市
公	古島小学校	福岡県筑後市
公	青葉小学校	福岡県福岡市
公	大津南小学校	熊本県菊池郡
国	大分大学教育福祉科学部附属小学校	大分県大分市
公	桃園小学校	大分県大分市
公	屋仁小学校	鹿児島県奄美市
国	鹿児島大学教育学部附属小学校	鹿児島県鹿児島市
公	田上小学校	鹿児島県鹿児島市
公	玉江小学校	鹿児島県鹿児島市
公	西谷山小学校	鹿児島県鹿児島市
公	兼久小学校	鹿児島県大島郡

(都道府県コード順)

2010年度(平成22年度) ソニー幼児教育支援プログラム 入選園

最優秀園(2園)

私	社会福祉法人わこう村 和光保育園	千葉県富津市	「わこう鉄研究所」 -さてつを溶かして手裏剣を作りたい 鉄ってどうやって溶かすの? -
私	学校法人常磐会学園 常磐会短期大学付属茨木高美幼稚園	大阪府茨木市	感じられる環境 感じられる心~生き物とのかかわりから育つもの~

優秀園(12園)

私	学校法人札幌ナザレン学園 こひつじ幼稚園	北海道札幌市	私	幸田町立大草保育園	愛知県額田郡
私	学校法人中沢学園 会津若葉幼稚園	福島県会津若松市	私	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	大阪府箕面市
私	学校法人岩崎学園 くりの木幼稚園	千葉県柏市	私	社会福祉法人堺暁福祉会 きらり保育園	兵庫県神戸市
公	伊東市立川奈幼稚園	静岡県伊東市	私	学校法人水谷学園 北陵幼稚園	島根県簸川郡
公	岡崎市城北保育園	愛知県岡崎市	私	社会福祉法人芽豆羅の里 芽豆羅保育園	大分県宇佐市
公	社会福祉法人謝徳会 るんびにー保育園	愛知県岡崎市	私	学校法人津曲学園 鹿児島国際大学附属鹿児島幼稚園	鹿児島県鹿児島市

奨励園(32園)

私	社会福祉法人清田福祉会 花山保育園	北海道札幌市	公	伊那市立西箕輪南部保育園	長野県伊那市
公	南部町立名川幼稚園	青森県三戸郡	公	岡崎市井田保育園	愛知県岡崎市
私	学校法人釜石南学園 釜石南幼稚園	岩手県釜石市	公	岡崎市根石保育園	愛知県岡崎市
私	学校法人支倉学園 めるへんの森幼稚園	宮城県仙台市	公	岡崎市緑丘保育園	愛知県岡崎市
国	国立大学法人山形大学附属幼稚園	山形県山形市	公	刈谷市立刈谷幼稚園	愛知県刈谷市
私	社会福祉法人慈育会 若葉台保育園	福島県いわき市	公	刈谷市立重原幼稚園	愛知県刈谷市
公	二本松市立川崎幼稚園	福島県二本松市	公	刈谷市立富士松北幼稚園	愛知県刈谷市
公	福島市立まつかわ西幼稚園	福島県福島市	公	刈谷市立双葉保育園	愛知県刈谷市
公	稲敷市立ゆたか幼稚園	茨城県稲敷市	私	学校法人聖英学園 江南第二幼稚園	愛知県江南市
私	学校法人ポーロニア学園 みずき野幼稚園	茨城県守谷市	私	社会福祉法人晴朗会 すくすく保育園	大阪府大阪市
私	学校法人峰学園 すぎの子幼稚園 社会福祉法人峰悠会 おおぞら保育園	群馬県桐生市	私	学校法人常磐会学園 常磐会短期大学付属常磐会幼稚園	大阪府大阪市
公	江東区立ちどり幼稚園	東京都江東区	公	加東市立福田幼稚園	兵庫県加東市
公	品川区立大崎保育園	東京都品川区	公	出雲市立朝山幼稚園	島根県出雲市
公	品川区立小山台保育園	東京都品川区	公	松江市立朝酌幼稚園	島根県松江市
公	品川区立八潮北保育園	東京都品川区	私	社会福祉法人しらゆり会 しらゆり保育園	島根県松江市
私	社会福祉法人至誠学舎立川 諏訪の森保育園	東京都立川市	国	国立大学法人岡山大学教育学部附属幼稚園	岡山県岡山市

(都道府県コード順)

取材のご案内 / 贈呈式写真のご提供
お申し込み用紙

ソニー教育財団 行

FAX 送信先 : 03-3442-1035

上位入選した小・中学校、幼稚園・保育所の各校長・園長と論文応募の研究代表教諭、そして P T A 会長が出席する贈呈式におきまして、報道関係のみなさまのご取材を承りたいと存じます。
また遠方でご取材が叶わない場合でも、希望される学校・園への贈呈シーンの写真を提供させていただきますので、ご検討をお願い申し上げます。

贈呈式開催概要

日時： 2011 年 1 月 22 日（土） 14:00-15:30

会場： ソニー株式会社 本社 2 階 大会議場

東京都港区港南 1-7-1 品川駅（J R、京急）港南口より徒歩 8 分

プログラム：(1)理事長挨拶 ソニー教育財団 理事長 中鉢 良治

(2)来賓 ご挨拶

(3)審査委員長 講評

ソニー子ども科学教育プログラム：御手洗 康 審査委員長

ソニー幼児教育支援プログラム：小泉 英明 審査委員長

(4)賞状・目録 贈呈 ソニー教育財団 理事長 中鉢 良治

(5)最優秀プロジェクト校・最優秀プロジェクト園 研究発表

お申し込み内容

贈呈式へのご取材： ご出席 ご欠席

写真提供： 希望（下記に E-Mail アドレスのご記入をお願いします） 不要

お名前： _____ ご出席の場合はご同伴者数： _____ 名様

御社名： _____ 媒体名・御所属： _____

TEL： _____ FAX： _____

E-Mail： _____

インタビューのご希望： ソニー教育財団 入選校・園 その他

本件に関する報道各位のお問い合わせ先

財団法人 ソニー教育財団 <http://www.sony-ef.or.jp/> 担当 宮原・坂口

TEL03-3442-1005 FAX 03-3442-1035 〒140-0001 東京都品川区北品川 4 2 1